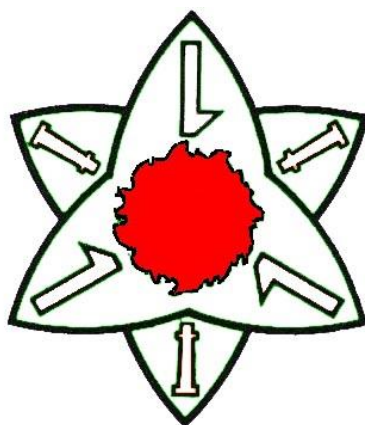


令和2年

救急・救助統計



安全と安心のまちづくり

火事と救急・救助は119番

消防テレホンサービス 22-9944
(災害情報・休日診療所情報)

酒田地区広域行政組合

目 次

1	はじめに	1
2	救急の概要	1
3	高度処置救急隊の救命処置状況	1
4	応急手当普及啓発活動の状況	1
5	消防隊等の救急活動支援の状況	2
6	12誘導心電図伝送システムの運用状況	2
7	ドクターヘリ運航状況	2
8	救助の概要	2

救急資料

1	月ごとの出動件数及び搬送人員	3
2	市町別の救急出動件数及び搬送人員	4
3	年齢区分別に見た事故種別ごとの搬送人員	5
4	重症度別の搬送人員	6
5	救急出動件数及び搬送人員の推移	6
6	事故種別ごとの出動件数の推移	7
7	主な事故種別の推移	7
8	曜日別の出動件数	8
9	覚知時刻別の出動件数	8
10	現場到着所要時間別の出動件数	9
11	収容所要時間別の搬送人員	9
12	医療機関別の搬送人員	10
13	救急隊員が行った応急処置	11
14	消防職員の救急隊員資格の取得状況	12
15	特定行為の実施状況	12
16	応急手当普及啓発活動の実施状況	13
17	消防隊等による救急活動支援の状況	14

救助資料

18	事故種別救助活動の状況	15
19	月別の救助出動の状況	16
20	市町別の救助出動の状況	17
21	曜日別救助出動の状況	17
22	交通事故における要救助者の重症度の状況	18
23	組合管内へのヘリコプター出動状況	18
24	消防救助技術指導会出場状況（過去5年間）	19

1 はじめに

この統計は、令和2年中の酒田地区広域行政組合管内における救急・救助業務の実態を把握し、今後における円滑な業務の推進と救命率の向上を図るとともに、住民の皆様からご理解とご協力をいただくために作成しました。

2 救急の概要

令和2年中における救急出動件数は5,269件で、前年に比べ599件の大幅な減少となり、1日の平均件数は14.4件となりました。搬送人員は4,868人で、前年に比べると563人の10.4%減少しました。救急件数が大幅に減少した要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大による行動制限や外出自粛によるものと考えられます。

事故種別ごとに救急出動件数をみると、最も多かったものは「急病」で3,741件、救急出動件数全体の71.0%となりました。2番目が「一般負傷」で766件、3番目が「その他（転院搬送）」で326件となりました。事故種別の中で「交通事故」が248件で、前年と比べると52件の17.3%減、「運動競技」が12件で、前年と比べると31件の72.1%減となりました。この要因としては、やはり新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛やスポーツを控えた人が多かったことが考えられます。

年齢区分別ごとに搬送人員をみると、最も多かったものは「高齢者（満65歳以上）」で3,679人、割合にして搬送人員全体の75.6%となりました。2番目が「成人（満18歳以上満65歳未満）」で1,029人、3番目が「少年（満7歳以上満18歳未満）」で80人となりました。

搬送人員を重症度別（初診時における医師の診断に基づく分類）でみると、最も多かったものは「軽症（入院加療を必要としないもの）」で2,100人、前年と比べると437人の17.2%減、割合にして搬送人員全体の43.1%となりました。2番目が「中等症（入院加療を必要とするもので重症に至らないもの）」で2,072人、前年と比べると97人の4.5%減、3番目が「重症（3週間以上の入院加療を必要とするもの）」で524人、前年と比べると30人の5.4%減となりました。軽症が大幅減になった要因としては、これも新型コロナウイルス感染症拡大による受診控え（病院控え）が起きたことと、予防意識の高まりからマスク着用や手洗い、うがいが徹底され、他の感染症などに罹患する人が減少した影響と考えられます。

3 高度処置救急隊の救命処置状況

心肺機能停止状態となった方は191人で、前年より34人減少しました。心肺停止状態となった方へ救急救命士が行う高度な救命処置（器具を用いた気道確保・静脈路確保及び薬剤投与）を実施した件数は277件で、前年より45件減少しました。

心肺機能停止前の静脈路確保人員は119人で前年より6人減少し、低血糖発作症例へのブドウ糖投与人員が27人で前年より2人増加しました。

4 応急手当普及啓発活動の状況

応急手当講習会の開催回数と受講者数は、救命入門コース（90分）5回121人、普通救命講習Ⅰ（3時間）4回81人、上級救命講習（8時間）4回73人、指導員講習2回17人の合計292人が受講し、前年に比べ3,155人減少しました。普通救命講習Ⅱ（4時間）、普通救命講習Ⅲ（3時間）、普及員講習（24時間）、普及員再講習（3時間）、指導員再講習（3時間）は開催しませんでした。

令和2年中は新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を鑑み、各種講習会を延期または中止としたことから、昨年と比較すると開催回数と受講者数が大幅に減少しました。

今後も救命率、社会復帰率の向上を目指し、多くの皆様から応急手当を身につけていただくため関係機関との連携を図り、感染拡大防止策を講じた上で応急手当講習会の開催を積極的に推進していきます。

また、小学生、中学生、高校生及び大学生に対しても生涯学習の一環として、応急手当講習会受講を呼び掛け、「救命の連鎖」「予防救急の重要性」「命の大切さ」を訴え、進んで応急手当ができるよう普及啓発に努めていきます。

5 消防隊等による救急活動支援の状況

P A連携とは、ポンプ車（Pumper）及び救急車（Ambulance）が同時に出動することで、双方の頭文字から「P A」といい、消防隊と救急隊が連携して傷病者の救出・救護処置を迅速かつ確実に実施することを目的としています。

なお、令和2年中のP A連携出動件数は409件で、前年に比べ78件減少しました。

6 12誘導心電図伝送システムの運用状況

当組合では、平成31年2月1日、12誘導心電図伝送システムの運用を開始しました。このシステムは、救急現場で測定した心電図を、インターネット回線を利用し医療機関に伝送することができます。これにより、救急隊が医療機関に到着する前に、医療機関の医師が心電図を確認することが可能となりました。

医療機関と救急隊との心電図情報の共有が、今までよりも容易になり、特に心筋梗塞（急性冠症候群）傷病者の治療開始までの時間短縮に繋がりました。

なお、令和2年中の心電図データ伝送件数は316件で、前年に比べて15件増加しました。

7 ドクターヘリ運航状況

令和2年中における、当組合管内の救急現場までドクターヘリが出動した件数は3件で、搬送された方は3人となりました。

現場まで出動したドクターヘリの内訳は、山形県ドクターヘリ2件、他県のドクターヘリ1件となりました。

8 救助の概要

令和2年中における救助出動件数は70件で、前年に比べ6件の減少となりました。事故種別の内訳として交通事故が33件、割合にして救助出動件数全体の47.1%で最も多く、建物等による事故が12件で17.1%、その他の事故が10件で14.3%となり、その他の事故に含まれる山岳事故が3件ありました。次いで水難事故が9件で12.9%、機械による事故が5件で7.1%、火災が1件で1.4%となりました。

前年の件数と比較して、機械による事故が増加、建物等による事故の増減はありませんでしたが、他の種別はすべて減少しました。

救助した人員については48人で前年より10人減少しました。また、当組合管内に山岳救助及び、捜索の目的でヘリコプターが出動した件数は4件で、その内訳は山形県消防防災航空隊が3件、他県の消防防災航空隊が1件となりました。

1 月ごとの出動件数及び搬送人員

(件、人)

月別	年別	救急事故種別														合計
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	資器材輸送	その他	
1	令和2年	2		1	21 (19)	5 (5)	3 (3)	64 (63)	1	8 (4)	346 (326)	34 (34)			12 (2)	497 (456)
	平成31年	6 (1)			20 (19)	2 (2)		78 (73)	2 (2)	4 (3)	395 (373)	31 (31)			4	542 (504)
2	令和2年	1			19 (17)	1 (1)	1 (1)	81 (76)	1 (1)	3 (1)	294 (274)	31 (31)	1		4	437 (402)
	平成31年	3		1	21 (19)	5 (5)	1	57 (52)	1 (1)	4 (4)	304 (291)	33 (33)			2	432 (405)
3	令和2年	3 (1)			17 (16)	2 (2)		53 (52)		5 (4)	339 (314)	37 (37)	1		5 (2)	462 (428)
	平成31年	1		1	21 (19)	3 (3)	2 (2)	71 (68)	1 (1)	7 (3)	342 (310)	22 (22)			1	472 (428)
4	令和2年	2			17 (15)	4 (4)		50 (49)	1 (1)	6 (3)	249 (229)	27 (27)			2	358 (328)
	平成31年	5		2	32 (30)	1 (1)	4 (4)	80 (76)		7 (3)	307 (283)	39 (39)			7	484 (436)
5	令和2年	1		2	24 (21)	2 (2)		55 (53)		2 (2)	292 (276)	20 (20)	1		2 (1)	401 (375)
	令和元年	11 (1)		1 (1)	43 (45)	3 (3)	3 (3)	67 (62)		5 (2)	341 (323)	35 (35)			2	511 (475)
6	令和2年	1		1 (1)	23 (22)	6 (6)	1 (1)	50 (46)		4 (2)	270 (256)	26 (26)			5 (1)	387 (361)
	令和元年	5	4 (4)		20 (19)	6 (6)	8 (8)	73 (68)		6 (5)	289 (266)	33 (33)	2		5	451 (409)
7	令和2年	2		3 (2)	12 (11)	5 (5)	1 (1)	62 (59)	1 (1)	4 (2)	330 (307)	25 (25)			2	447 (413)
	令和元年	2		1	19 (19)	4 (4)	5 (5)	65 (60)	1 (1)	3 (2)	333 (319)	31 (31)			5	469 (441)
8	令和2年	1			18 (19)	1 (1)	1 (1)	61 (57)	1	1 (1)	364 (339)	25 (25)			6	479 (443)
	令和元年	4		3 (3)	16 (14)	3 (3)	6 (6)	68 (61)		12 (9)	419 (392)	37 (37)			5	573 (525)
9	令和2年	2			22 (19)	4 (4)	2 (2)	69 (66)		3 (2)	291 (273)	36 (36)			4 (1)	433 (403)
	令和元年	5		1 (1)	28 (24)	3 (3)	4 (4)	70 (69)		5 (3)	317 (302)	33 (33)			3	469 (439)
10	令和2年	1			24 (23)	1 (1)	1 (1)	79 (74)		4 (1)	332 (309)	26 (26)	1		2	471 (435)
	令和元年	5			29 (30)	8 (8)	5 (5)	75 (72)	1 (1)	6 (4)	324 (307)	25 (25)	1		5 (1)	484 (453)
11	令和2年	1		1 (1)	26 (25)	2 (2)		59 (55)	1 (1)	1	314 (297)	18 (18)			3 (3)	426 (402)
	令和元年	2			31 (32)	4 (4)	5 (5)	71 (68)		3 (1)	344 (324)	31 (30)			3	494 (464)
12	令和2年	1		1	25 (22)	5 (5)	2 (2)	83 (75)	1	5 (3)	320 (294)	21 (21)			7	471 (422)
	令和元年	2			20 (20)	1 (1)		87 (79)		1	321 (301)	50 (50)	1		4 (1)	487 (452)
令和2年計		18 (1)		9 (4)	248 (229)	38 (38)	12 (12)	766 (725)	7 (4)	46 (25)	3,741 (3,494)	326 (326)	4		54 (10)	5,269 (4,868)
令和元年計		51 (2)	4 (4)	10 (5)	300 (290)	43 (43)	43 (42)	862 (808)	6 (6)	63 (39)	4,036 (3,791)	400 (399)	4		46 (2)	5,868 (5,431)
増減		△33 (△1)	△4 (△4)	△1 (△1)	△52 (△61)	△5 (△5)	△31 (△30)	△96 (△83)	1 (△2)	△17 (△14)	△295 (△297)	△74 (△73)			8 (8)	△599 (△563)

※()は搬送人員です。

2 市町別の救急出動件数及び搬送人員

(件、人)

市町別	年別	救急事故の種類													合計	
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	資器材輸送		その他
酒田市	令和2年	15 (1)		9 (4)	183 (170)	28 (28)	8 (8)	594 (561)	7 (4)	36 (19)	2,732 (2,537)	262 (262)	3		43 (8)	3,920 (3,602)
	令和元年	34 (1)	3 (3)	10 (5)	216 (208)	32 (32)	35 (35)	669 (626)	5 (5)	46 (30)	2,936 (2,751)	342 (341)	1		33 (2)	4,362 (4,039)
庄内町	令和2年				35 (32)	6 (6)	2 (2)	96 (91)		6 (3)	674 (646)	55 (55)	1		6 (1)	881 (836)
	令和元年	11 (1)			43 (42)	8 (8)	6 (5)	111 (104)	1 (1)	7 (5)	662 (637)	52 (52)	1		7	909 (855)
遊佐町	令和2年	3			29 (26)	4 (4)	2 (2)	76 (73)		4 (3)	335 (311)	9 (9)			5 (1)	467 (429)
	令和元年	6	1 (1)		41 (40)	3 (3)	2 (2)	82 (78)		10 (4)	437 (403)	6 (6)	2		6	596 (537)
管外	令和2年				1 (1)											1 (1)
	令和元年										1					1
令和2年計		18 (1)		9 (4)	248 (229)	38 (38)	12 (12)	766 (725)	7 (4)	46 (25)	3,741 (3,494)	326 (326)	4		54 (10)	5,269 (4,868)
令和元年計		51 (2)	4 (4)	10 (5)	300 (290)	43 (43)	43 (42)	862 (808)	6 (6)	63 (39)	4,036 (3,791)	400 (399)	4		46 (2)	5,868 (5,431)
増減		△33 (△1)	△4 (△4)	△1 (△1)	△52 (△61)	△5 (△5)	△31 (△30)	△96 (△83)	1 (△2)	△17 (△14)	△295 (△297)	△74 (△73)			8 (8)	△599 (△563)

※ ()は搬送人員です。

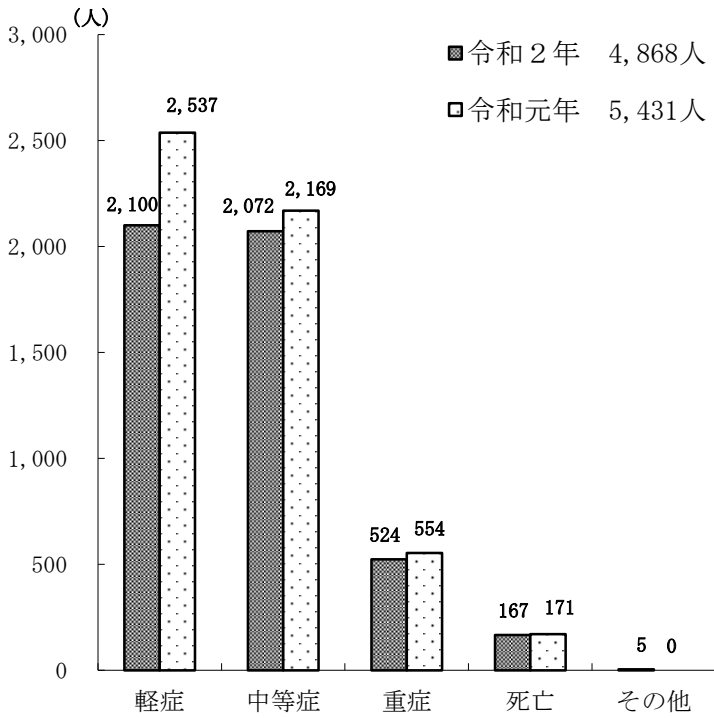
3 年齢区分別に見た事故種別ごとの搬送人員

(人)

事故種別 年齢区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児 生後28日未満											9	9
乳 幼 児 生後28日以上満7歳未満				5			15			48	3	71
少 年 満7歳以上満18歳未満				9		8	10		1	47	5	80
成 人 満18歳以上満65歳未満	1		2	125	31	4	78	2	17	679	90	1,029
高 齢 者 満65歳以上			2	90	7		622	2	7	2,720	229	3,679
令 和 2 年 計	1		4	229	38	12	725	4	25	3,494	336	4,868
令 和 元 年 計	2	4	5	290	43	42	808	6	39	3,791	401	5,431
増 減	△1	△4	△1	△61	△5	△30	△83	△2	△14	△297	△65	△563

※ 事故種別の「その他」とは、「転院搬送」、「医師搬送」、「資器材輸送」及び「その他(分類不能のもの)」です。

4 重症度別の搬送人員

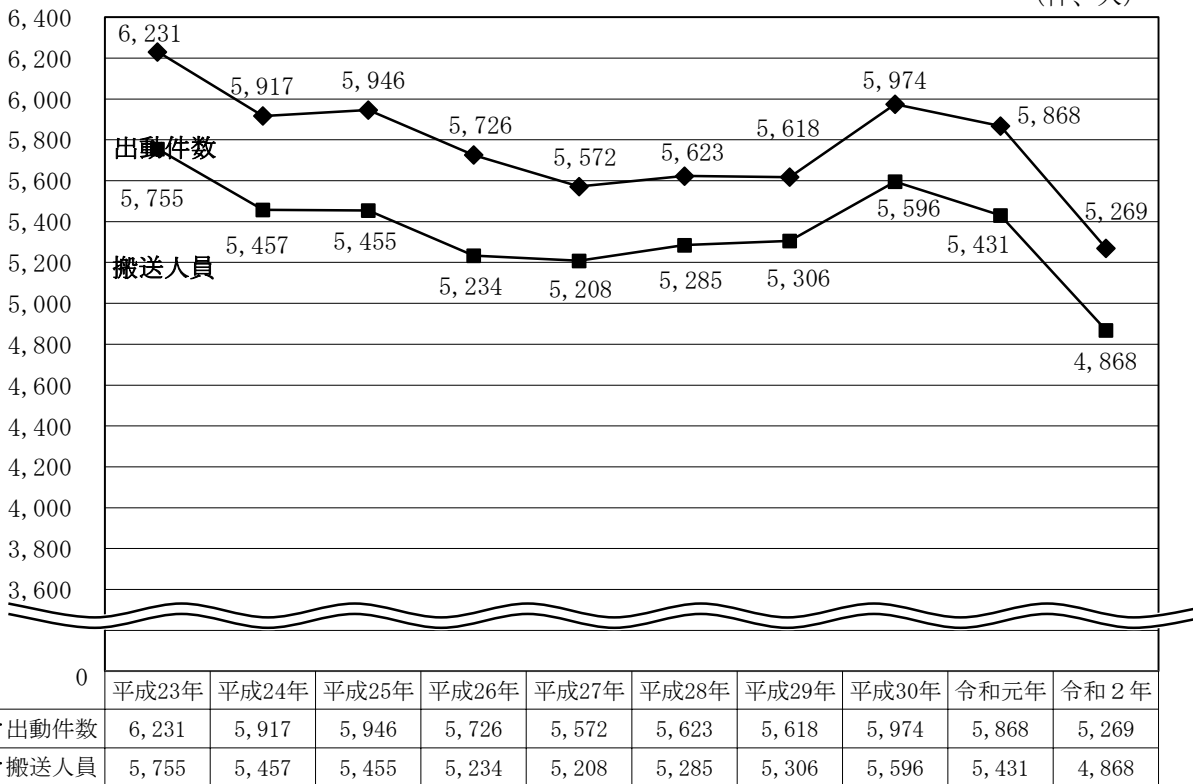


傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき次により分類する

軽症	入院加療を必要としないもの
中等症	入院加療を必要とするもので重症に至らないもの
重症	3週間以上の入院加療を必要とするもの
死亡	初診時において、死亡が確認されたもの
その他	医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの

5 救急出動件数及び搬送人員の推移

(件、人)



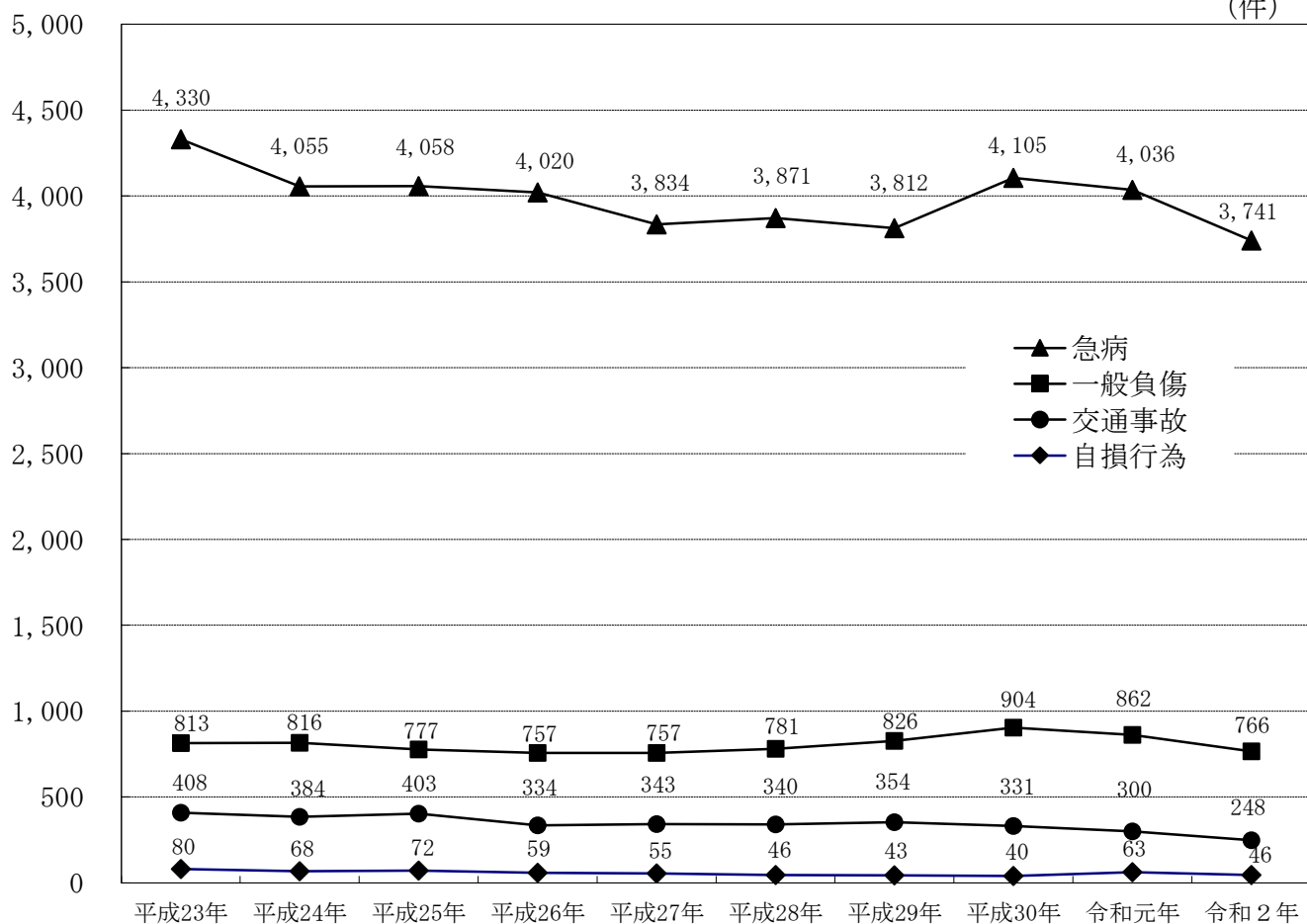
6 事故種別ごとの出動件数の推移

(件)

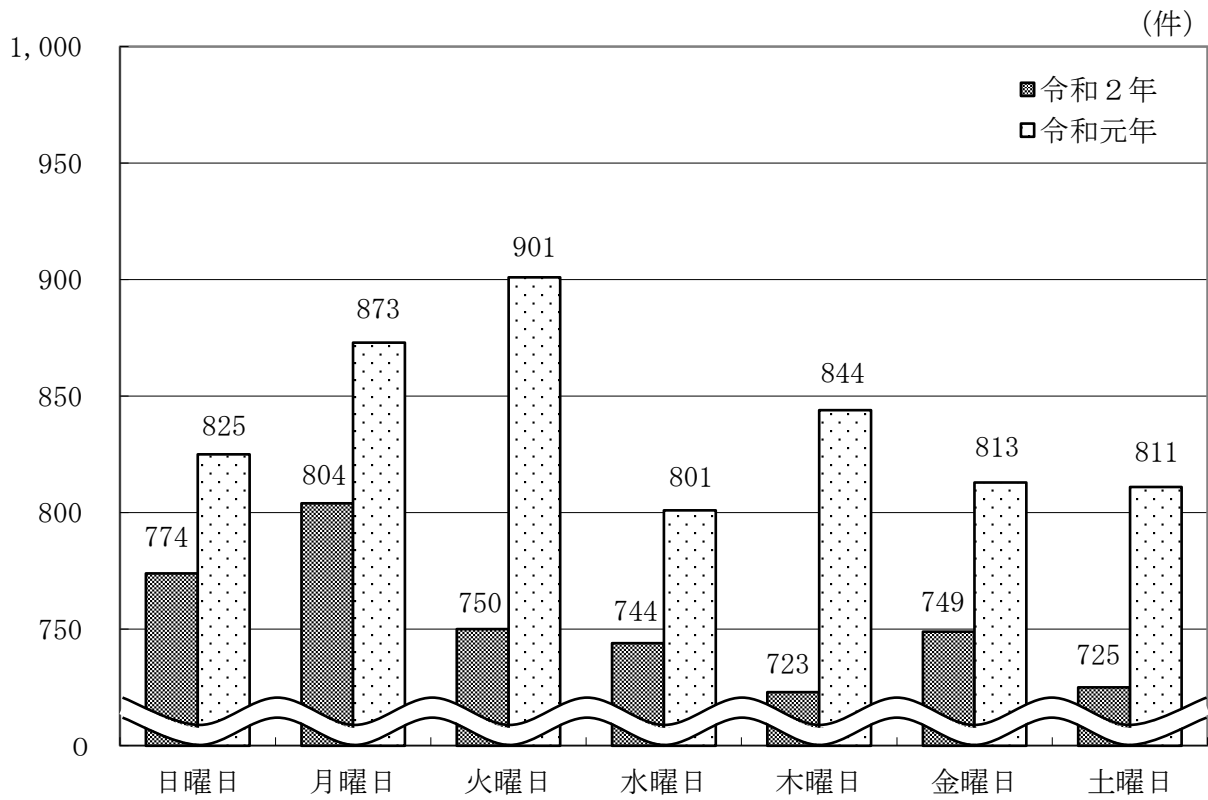
事故種別 年別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資器材送	その他	
平成23年	26	1	7	408	37	52	813	16	80	4,330	394	2	1	64	6,231
平成24年	32	3	3	384	57	29	816	4	68	4,055	394	2		70	5,917
平成25年	25		7	403	41	41	777	17	72	4,058	415	4		86	5,946
平成26年	42		6	334	32	39	757	13	59	4,020	346	7		71	5,726
平成27年	28		4	343	52	45	757	14	55	3,834	375	4		61	5,572
平成28年	27		7	340	45	44	781	9	46	3,871	393	2		58	5,623
平成29年	33		10	354	43	35	826	7	43	3,812	411			44	5,618
平成30年	32	1	5	331	49	29	904	14	40	4,105	398	6		60	5,974
令和元年	51	4	10	300	43	43	862	6	63	4,036	400	4		46	5,868
令和2年	18		9	248	38	12	766	7	46	3,741	326	4		54	5,269

7 主な事故種別の推移

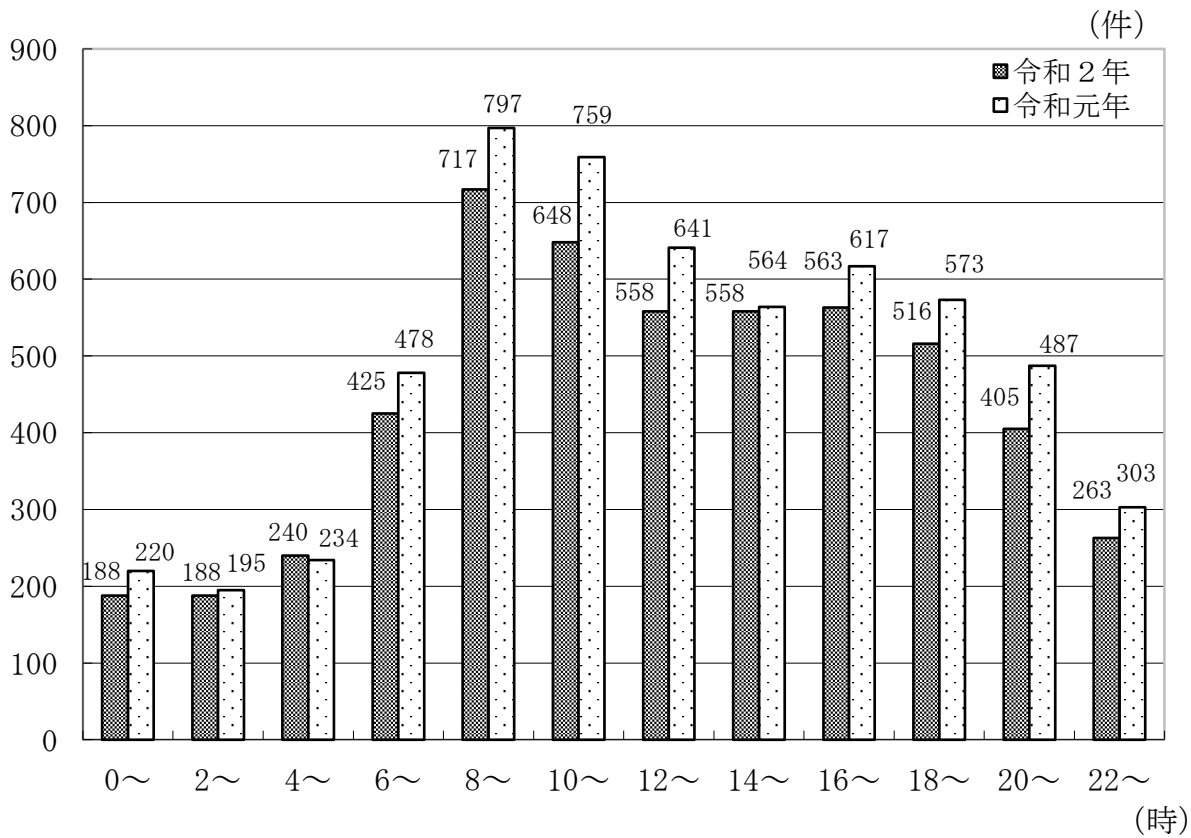
(件)



8 曜日別の出動件数



9 覚知時刻別の出動件数



10 現場到着所要時間別の出動件数

(件)

事故 種別・年別		時間別					計	平均時間
		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
急病	令和2年	27	289	2,564	833	28	3,741	令和2年 8分30秒
	令和元年	26	267	2,717	980	46	4,036	
交通事故	令和2年	3	13	142	82	8	248	
	令和元年	1	15	148	122	14	300	
一般負傷	令和2年	8	49	510	193	6	766	令和元年 8分46秒
	令和元年	4	56	550	240	12	862	
上記以外	令和2年	22	64	333	81	14	514	
	令和元年	25	91	405	112	37	670	
計	令和2年	60	415	3,549	1,189	56	5,269	
	令和元年	56	429	3,820	1,454	109	5,868	
比率	令和2年	1.1%	7.9%	67.4%	22.6%	1.1%		
	令和元年	1.0%	7.3%	65.1%	24.8%	1.9%		

※ 救急出動で途中引揚げした場合は、引揚げ時刻を現場到着時刻としています。

※ 比率の単位未満は、四捨五入した数値となっています。

11 収容所要時間別の搬送人員

(人)

事故 種別・年別		時間別					計	
		10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満		120分以上
急病	令和2年		35	1,071	2,277	110	1	3,494
	令和元年		62	1,195	2,346	188		3,791
交通事故	令和2年		2	45	167	15		229
	令和元年		3	56	194	36	1	290
一般負傷	令和2年		2	226	462	33	2	725
	令和元年	1	13	236	503	55		808
上記以外	令和2年		8	182	202	12	16	420
	令和元年		6	263	243	18	12	542
計	令和2年		47	1,524	3,108	170	19	4,868
	令和元年	1	84	1,750	3,286	297	13	5,431
比率	令和2年		1.0%	31.3%	63.8%	3.5%	0.4%	
	令和元年	0.0%	1.5%	32.2%	60.5%	5.5%	0.2%	

※ 比率の単位未満は、四捨五入した数値となっています。

12 医療機関別の搬送人員

(人)

搬送先 月別・年別		管内				管外			医療機関 以外	計
		告示医療機関			非告示の 医療機関	鶴岡市	山形市	山形市 鶴岡市 以外		
		日本海 総合病院	庄内 余目病院	本間 病院						
1月	令和2年	277	107	52	10	6	2	2	456	
	平成31年	354	100	35	9	5		1	504	
2月	令和2年	250	94	44	9	3	1	1	402	
	平成31年	266	79	37	11	12			405	
3月	令和2年	242	114	54	6	9	2	1	428	
	平成31年	283	81	51	7	3	3		428	
4月	令和2年	191	84	45	2	4	1	1	328	
	平成31年	267	83	65	13	6	1	1	436	
5月	令和2年	219	91	60	2	2	1		375	
	令和元年	289	103	67	7	7	2		475	
6月	令和2年	211	83	56	6	4	1		361	
	令和元年	258	89	50	9	1	1	1	409	
7月	令和2年	235	100	61	10	6	1		413	
	令和元年	251	110	57	15	5	3		441	
8月	令和2年	260	97	78	3	4	1		443	
	令和元年	296	120	89	13	3	3	1	525	
9月	令和2年	237	102	52	6	4	1	1	403	
	令和元年	260	96	66	12	4		1	439	
10月	令和2年	268	104	54	6	3			435	
	令和元年	286	93	57	12	4		1	453	
11月	令和2年	231	104	53	8	4	1	1	402	
	令和元年	280	114	51	12	5	2		464	
12月	令和2年	248	109	54	5	5		1	422	
	令和元年	257	113	72	7	2	1		452	
計	令和2年	2,869	1,189	663	73	54	12	8	4,868	
	令和元年	3,347	1,181	697	127	57	16	6	5,431	
比率	令和2年	58.9%	24.4%	13.6%	1.5%	1.1%	0.2%	0.2%		
	令和元年	61.6%	21.7%	12.8%	2.3%	1.0%	0.3%	0.1%		

※ 比率の単位未満は、四捨五入した数値となっています。

13 救急隊員が行った応急処置

(人、回)

処置項目	年別 種別 人員	令和2年					令和元年					増減
		急病	交通事故	一般負傷	その他	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	
		3,599	237	748	441	5,025	3,791	289	807	538	5,425	△400
止血		16	16	105	19	156	15	11	71	11	108	48
固定		8	87	87	18	200	14	101	93	29	237	△37
心肺蘇生		164	2	11	11	188	162	3	26	20	211	△23
うち自動												
人工呼吸のみ		3				3	13		1		14	△11
胸骨圧迫												
うち自動												
酸素吸入		1,044	21	55	114	1,234	1,053	26	76	140	1,295	△61
気道確保		339	3	20	19	381	296	3	34	31	364	17
うち※1		1				1	3				3	△2
うち※2		11		6	1	18	7		4		11	7
うち※3		117	2	3	3	125	110	2	17	14	143	△18
うち※4		1				1	2				2	△1
保温		875	56	147	90	1,168	638	31	115	79	863	305
被覆		10	32	133	15	190	13	26	95	16	150	40
在宅療法継続		30		1		31	30		1	1	32	△1
うち※A		2				2				1	1	1
うち※B		5				5	4				4	1
うち※C		23		1		24	26		1		27	△3
除細動		21		1		22	13		1	1	15	7
静脈路確保		194	6	11	12	223	205	7	24	14	250	△27
心肺停止前		103	4	6	6	119	112	5	7	1	125	△6
心肺停止後		91	2	5	6	104	93	2	17	13	125	△21
薬剤投与		42	2	2	1	47	41	1	7	3	52	△5
血糖測定		559	2	23	20	604	531	6	21	29	587	17
ブドウ糖投与		27				27	25				25	2
エピペン投与												
血圧測定		3,326	230	720	399	4,675	3,600	278	771	494	5,143	△468
心音呼吸音聴取		1,366	97	113	95	1,671	981	71	78	83	1,213	458
血中酸素飽和度測定		3,356	230	724	411	4,721	3,610	282	764	513	5,169	△448
心電図測定		2,349	55	128	182	2,714	2,410	66	145	199	2,820	△106
12誘導心電図伝送		287		2	27	316	266		4	31	301	15
その他		1,273	81	272	140	1,766	1,319	94	278	142	1,833	△67
計		15,289	920	2,555	1,573	20,337	15,235	1,006	2,605	1,836	20,682	△345

※ 気道確保：※1 経鼻エアウェイ ※2 喉頭鏡・鉗子による異物除去 ※3 LT等処置 ※4 気管挿管処置
 ※ 在宅療法継続：※A 点滴処置が施された者 ※B 気管切開、人工肛門等の外瘻が施された者 ※C A・B以外の者
 ※ 1人につき複数の応急処置を行うこともあるため、対象人員と処置項目の計の数とは一致しない場合があります。
 ※ 12誘導心電図伝送は、平成31年2月1日から運用開始。
 ※ 本表は、不搬送事案の人員、及び応急処置の件数も計上しています。

14 消防職員の救急隊員資格の取得状況

(人)

資格別 年別	合 計	救急救命士	救急科 (旧救急標準課程含)	旧救急Ⅱ課程	旧救急Ⅰ課程
平成28年	200	49	113	37	1
平成29年	207	48	129	29	1
平成30年	212	50	134	27	1
令和元年	206	49	133	23	1
令和2年	207	48	142	16	1

※ 令和2年12月31日現在での人数です。

15 特定行為の実施状況

(件、人)

区分 年別	心肺蘇生法 実施人員	除細動 実施人員	薬剤投与 アドレナリン 実施人員 ①	気道確保実施 ②		静脈路確保 実施人員 ③	心肺停止後 特定行為 処置件数 ①+②+③	心肺停止前 静脈路確保 実施人員 ④	心肺停止前 ブドウ糖投与 実施人員 ⑤	特定行為 延べ件数 ①+②+③ +④+⑤
					うち 気管挿管					
平成28年	211	18	41	156	7	102	299	92	30	421
平成29年	211	15	38	145	4	106	289	104	27	420
平成30年	203	21	55	146	5	114	315	100	15	430
令和元年	225	15	52	145	2	125	322	125	25	472
令和2年	191	22	47	126	1	104	277	119	27	423

※ 心肺蘇生法実施人員とは、救急隊が心肺蘇生又は胸骨圧迫のみ、人工呼吸のみのうちいずれかを実施して搬送した人数です。

※ 除細動は医師の具体的指示を必要としない処置のため、平成15年4月から特定行為を外れています。

※ 心肺停止前の特定行為は平成27年1月から認められた行為です。

16 応急手当普及啓発活動の実施状況

(回、人)

区分 月別	救命入門コース		普通救命講習 I		普通救命講習 II		普通救命講習 III		上級救命講習		普及員講習		普及員再講習		指導員講習		指導員再講習		計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
1月	回数	1							2											3
	人数	76							51											127
2月	回数	4	4						2					1						11
	人数	45	81						22					6						154
3月	回数																			
	人数																			
4月	回数																			
	人数																			
5月	回数																			
	人数																			
6月	回数																			
	人数																			
7月	回数																			
	人数																			
8月	回数																			
	人数																			
9月	回数																			
	人数																			
10月	回数																			
	人数																			
11月	回数																			
	人数																			
12月	回数													1						1
	人数													11						11
令和 2年	回数	5	4						4					2						15
	人数	121	81						73					17						292
令和 元年	回数	91	49	2	6				2	1	3			1						156
	人数	2,169	1,049	30	105				34	9	47			1						3,447
増減	回数	△86	△45	△2	△6				2	△1	△3			1						△141
	人数	△2,048	△968	△30	△105				39	△9	△47			16						△3,155

※ 救命入門コース（90分）：住民に対する応急手当の導入講習です。

普通救命講習 I（3時間）：住民に対する標準的な講習です。（主に成人に対する心肺蘇生法）

普通救命講習 II（4時間）：住民に対する標準的な講習です。（AEDの一定頻度使用者が対象の心肺蘇生法）

普通救命講習 III（3時間）：住民に対する標準的な講習です。（主に小児・乳児・新生児に対する心肺蘇生法）

上級救命講習（8時間）：普通救命講習より高度な講習です。

普及員講習（24時間）：主として事業所又は防災組織等において、当該事業所の従業員又は防災組織等の構成員に対し、普通救命講習の指導に従事する者の講習です。

指導員講習（8時間）：当広域行政組合の行う普通救命講習又は上級救命講習の指導に従事する者の講習です。

17 消防隊等による救急活動支援の状況

(1) 月別

(件)

(2) 署別

(件)

月別	年別	種別						合計	署別	年別	種別						合計						
		C P A	交 通	高 エ ネ ル ギ ー	多 層 階	へ り 支 援	そ の 他				C P A	交 通	高 エ ネ ル ギ ー	多 層 階	へ り 支 援	そ の 他							
1	令和2年	13	4		14	1	15	47	消防署	令和2年	25	9	4	76		50	164						
	平成31年	12	2	1	9	1	9	34		令和元年	43	19	2	104	7	69	244						
2	令和2年	6	3	2	11		9	31	東分署	令和2年						2	2						
	平成31年	8	4		21		8	41		令和元年	1	1		3		1	6						
3	令和2年	7	4	2	17	1	15	46	西分署	令和2年	15		1	30		25	71						
	平成31年	6	3	1	11	2	17	40		令和元年	18	3	1	19		19	60						
4	令和2年	3	2		7		9	21	南分署	令和2年	1	1				2	4						
	平成31年	8	11		11	1	8	39		令和元年	1	6		2			9						
5	令和2年	4	1	1	13		11	30	立川分署	令和2年													
	令和元年	9	5	1	15	1	24	55		令和元年													
6	令和2年	3		1	6		15	25	余目分署	令和2年	19	7		20	1	46	93						
	令和元年	5	5	2	13	1	13	39		令和元年	20	11	3	13	1	30	78						
7	令和2年	6		1	11	1	11	30	遊佐分署	令和2年	22	7	4	7	5	29	74						
	令和元年	4	2	1	12	1	16	36		令和元年	16	6	5	16	4	41	88						
8	令和2年	10	2	1	13	2	12	40	八幡分署	令和2年													
	令和元年	10	1		21	3	16	51		令和元年		1			1		2						
9	令和2年	3	1		2		12	18	松山分署	令和2年													
	令和元年	12	5		12	1	7	37		令和元年													
10	令和2年	6	2		18	1	17	44	平田分署	令和2年			1				1						
	令和元年	8	3	4	9		13	37		令和元年													
11	令和2年	11	1	1	8		14	35	令和2年計								82	24	10	133	6	154	409
	令和元年	8	2	1	12		19	42	令和元年計								99	47	11	157	13	160	487
12	令和2年	10	4	1	13		14	42	増減								△17	△23	△1	△24	△7	△6	△78
	令和元年	9	4		11	2	10	36															
令和2年計		82	24	10	133	6	154	409															
令和元年計		99	47	11	157	13	160	487															
増減		△17	△23	△1	△24	△7	△6	△78															

※ 救急活動支援（PA連携）とは、消防隊や救助隊が現場に出動し、救急隊の処置や搬送等を支援したり、交通事故現場において、救急隊の安全確保のための支援活動のことです。
 ※ その他とは、搬送困難、加害、傷病者多数などの支援活動のことです。

18 事故種別救助活動の状況

(件、人)

年 別		令 和 2 年			令 和 元 年		
		出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員
区 分							
事 故 種 別							
火 災	建 物	1	1	1	4	4	2
	建 物 以 外				1	1	1
交 通 事 故		33	17	17	34	23	24
水 難 事 故		9	7	7	10	9	7
風 水 害 等 自 然 災 害							
機 械 に よ る 事 故		5	3	3	4	4	4
建 物 等 に よ る 事 故		12	10	10	12	10	10
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故							
破 裂 事 故							
そ の 他 の 事 故	山 岳 事 故	3	2	4	9	8	8
	そ の 他	7	6	6	2	2	2
合 計		70	46	48	76	61	58

19 月別の救助出動の状況

(件、人)

月別	年別	救 助 事 故 種 別											合計
		火 災		交通 事故	水難 事故	風自 水自然 害災 等害	機よ る事 械に 故	建よ る等 事に 故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂事 故	その他の事故		
		建 物	建以 物外								山事 岳故	そ の 他	
1	令和 2年			7 (6)	1 (1)							2 (2)	10 (9)
	平成 31年	1 (1)		3				1					5 (1)
2	令和 2年			4 (2)									4 (2)
	平成 31年			5 (4)	1 (1)								6 (5)
3	令和 2年			1			1 (1)						2 (1)
	平成 31年			2 (2)	1 (1)			3 (3)					6 (6)
4	令和 2年			1			1 (1)	1 (1)					3 (2)
	平成 31年	1		2 (2)	2 (2)								5 (4)
5	令和 2年			2 (1)	1 (1)			1 (1)				1 (1)	5 (4)
	令和 元年	1		4 (3)	2 (2)						2 (2)		9 (7)
6	令和 2年			2 (1)	1 (1)			3 (3)				1 (1)	7 (6)
	令和 元年	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1		3 (3)	2 (2)					9 (8)
7	令和 2年			1	2 (1)			1				1 (1)	5 (2)
	令和 元年			3 (2)	1			1 (1)			1 (1)		6 (4)
8	令和 2年			4 (3)	1			3 (2)			3 (4)	1 (1)	12 (10)
	令和 元年			2 (1)	1			1 (1)			3 (3)	1 (1)	8 (6)
9	令和 2年			3 (1)	1 (1)		1						5 (2)
	令和 元年			3 (2)	1 (1)						3 (2)		7 (5)
10	令和 2年			2			1 (1)	1 (1)					4 (2)
	令和 元年			1				2 (2)				1 (1)	4 (3)
11	令和 2年			3 (2)	1 (1)		1					1	6 (3)
	令和 元年			6 (5)				1 (1)					7 (6)
12	令和 2年	1 (1)		3 (1)	1 (1)			2 (2)					7 (5)
	令和 元年			2 (2)			1 (1)	1					4 (3)
令和 2年計		1 (1)		33 (17)	9 (7)		5 (3)	12 (10)			3 (4)	7 (6)	70 (48)
令和 元年計		4 (2)	1 (1)	34 (24)	10 (7)		4 (4)	12 (10)			9 (8)	2 (2)	76 (58)

※()内は救助人員です。

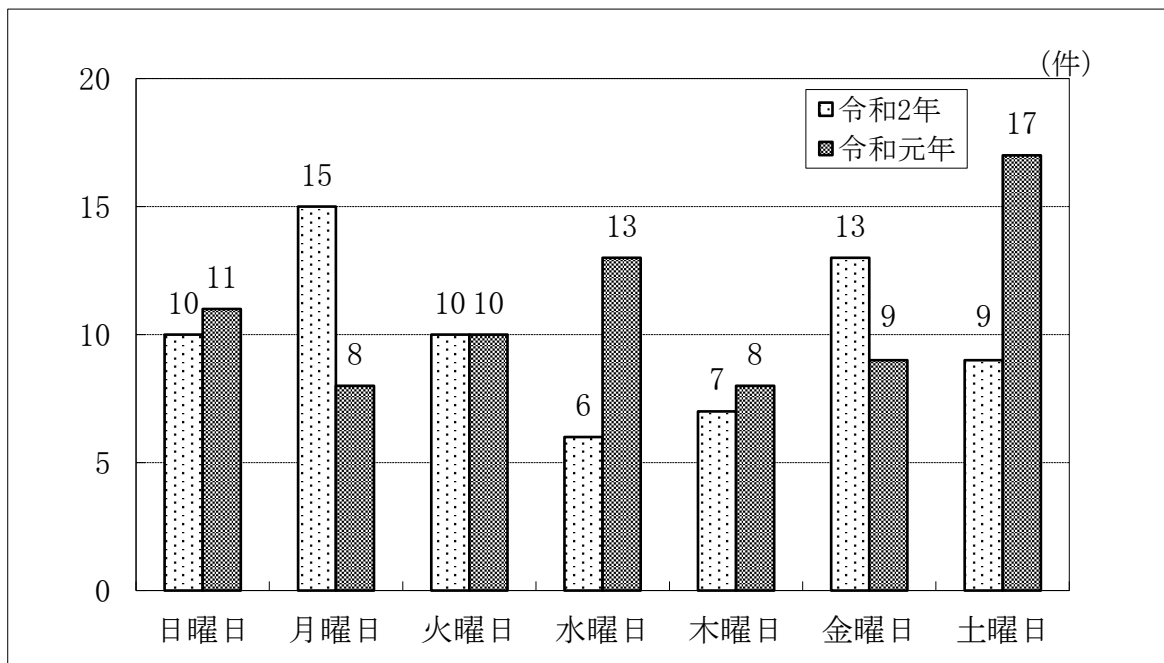
20 市町別の救助出動の状況

(件、人)

市町別	年別	救助事故種別										合計	
		火災		交通事故	水難事故	風自 水自然 害災 等害	機よ る事 に故	建よ る事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂事 故	その他の事故		
		建 物	建以 物外								山事 岳故		そ の 他
酒田市	令和2年			26 (14)	9 (7)		3 (2)	12 (10)				7 (6)	57 (39)
	令和元年	2 (2)	1 (1)	22 (14)	10 (7)		2 (2)	10 (8)			1 (1)		48 (35)
庄内町	令和2年			5 (2)			1 (1)						6 (3)
	令和元年	1		5 (4)			1 (1)	2 (2)					9 (7)
遊佐町	令和2年	1 (1)		2 (1)			1				3 (4)		7 (6)
	令和元年	1		7 (6)			1 (1)				8 (7)	2 (2)	19 (16)
管外	令和2年												
	令和元年												
令和2年計		1 (1)		33 (17)	9 (7)		5 (3)	12 (10)			3 (4)	7 (6)	70 (48)
令和元年計		4 (2)	1 (1)	34 (24)	10 (7)		4 (4)	12 (10)			9 (8)	2 (2)	76 (58)
増減		△3 (△1)	△1 (△1)	△1 (△7)	△1		1 (△1)				△6 (△4)	5 (4)	△6 (△10)

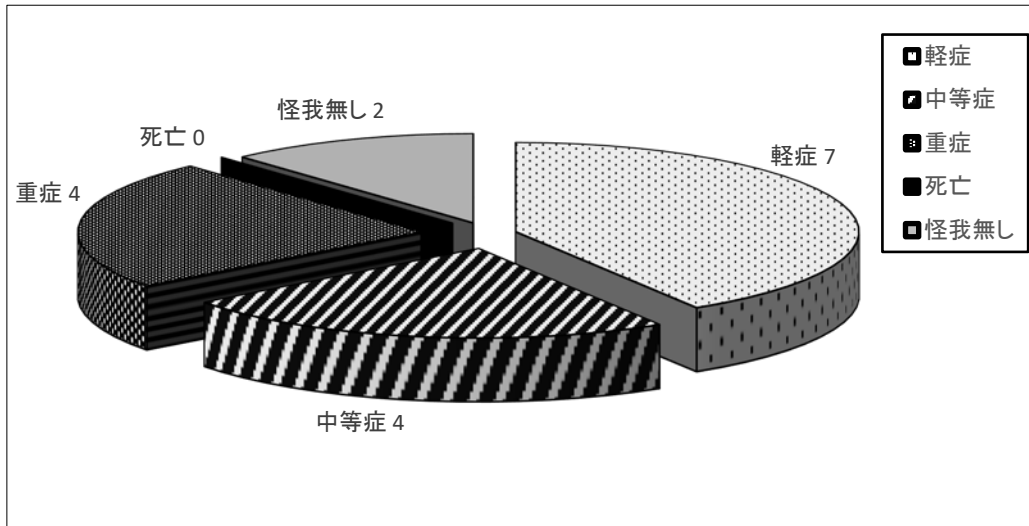
※()内は救助人員です。

21 曜日別救助出動の状況



22 交通事故における要救助者の重症度の状況

(人)



23 組合管内へのヘリコプター出動状況

(件、人)

ヘリコプター種別	年別	出動区分						計	搬送人員	
		救急	救助	山岳救助	山岳搜索	水難救助	その他			
山形県防災ヘリコプター	令和2年			2	1		1	4	2	
	令和元年	1		7		1	1	10	7	
他県の防災ヘリコプター	令和2年			1				1	1	
	令和元年		1	2				3	3	
山形県ドクターヘリコプター	令和2年	2						2	2	
	令和元年	9						9	4	
他県のドクターヘリコプター	令和2年	1						1	1	
	令和元年	1						1	1	
他機関	山形県警ヘリコプター	令和2年								
		令和元年					1	1		
	海上保安庁ヘリコプター	令和2年	1						1	1
		令和元年	1						1	1
	自衛隊ヘリコプター	令和2年								
		令和元年								
令和2年計		4		3	1		1	9	7	
令和元年計		12	1	9		2	1	25	16	
増減		△8	△1	△6	1	△2		△16	△9	

24 消防救助技術指導会出場状況（過去5年間）

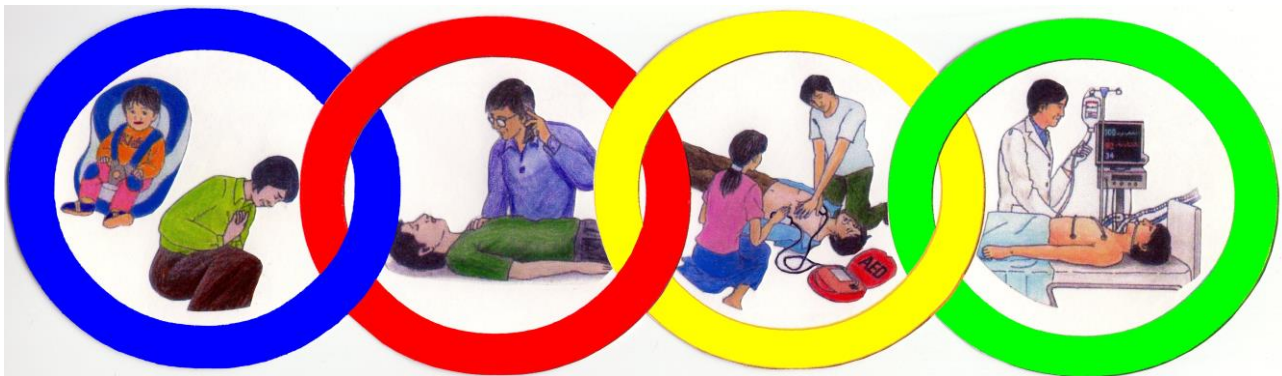
山形県指導会

東北地区支部消防救助技術指導会

回数	実施年月日	出場種目	成績
28	H28.6.30	引揚救助 ほふく救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞 入賞
29	H29.6.29	引揚救助 ほふく救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞 入賞
30	H30.6.28	引揚救助 ほふく救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞 入賞
31	R1.7.4	引揚救助 ほふく救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞
32	R2.6.10	開催中止(新型コロナウイルス感染症拡大のため)	

回数	実施年月日	出場種目	成績
45	H28.7.29	引揚救助	入賞
46	H29.7.19	出場なし	
47	H30.7.25	ロープブリッジ救出	入賞
48	R1.7.24	引揚救助	
49	R2.7.9	開催中止(新型コロナウイルス感染症拡大のため)	

救命の連鎖



◎心肺停止の予防

◎早期認識と通報

◎一次救命処置

◎二次救命処置と

心拍再開後の集中治療